

総合資源エネルギー調査会
省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会／
省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量
導入・次世代電力ネットワーク小委員会／
電力・ガス事業分科会 次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会／
分散型エネルギー推進戦略ワーキンググループの開催について（案）

令和7年12月19日
資源エネルギー庁

- 第7次エネルギー基本計画等で示している「再生可能エネルギーの主力電源化」に向けては、系統の安定性の確保や再エネ導入に対応するために電力システム全体で必要となるトータル費用（以下「トータル費用」という。）の抑制が必要となる。
- 系統の安定性の確保に向けては、本年1月に次世代電力系統ワーキンググループを設置し、電源・供給側の制度の在り方に加え、需要家側のリソース活用や系統接続等、電力系統の次世代化に向けた議論を行っている。
- 一方、トータル費用の抑制に向けては、蓄電池やディマンドリスポンス（DR）等を活用するための事業環境整備や、再エネの自家消費・地産地消を進めるための検討など、低圧・分散という特徴を有する需要家側の分散型エネルギー資源（DER）に着目した検討も行っていく必要がある。
- こうした状況を踏まえ、DERの導入見通しの分析や、当該分析結果を踏まえたリソースごとのインセンティブの在り方や必要となるスキーム等を審議するため、新たに「分散型エネルギー推進戦略ワーキンググループ」を設置することとする。
- なお、同ワーキンググループは、需要の最適化や再エネ大量導入のためのフレキシビリティの確保等に関する議論も行う予定であるため、総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク

小委員会／省エネルギー小委員会／電力・ガス事業分科会 次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会の下に設置する。